

無農薬で栽培した搾汁用ゆず 受け込み最盛期！

850トンをジュースやポン酢に加工・販売予定

J A高知県土長地区管内のれいほく地域では、今年も「搾汁用ゆず」の受け込みが最盛期を迎えています。J A高知県れいほく無農薬柚子部会は、生産者401人（昨年度出荷人数）が約76㍍で、香り高い無農薬ゆずの栽培を行っています。今年は台風被害も少なく、11月下旬までに例年より多い約850トンの出荷を見込んでいます。

受け込みを行うJ A高知県れいほく柚子加工場では、ゆず玉の擦れの有無を目視で確認し、規格外を選別しながら搾汁機で果汁、皮、種に分けていきます。ジュースやジャム、ポン酢などに加工した製品は、都市部を中心に全国各地や、海外へも販売しています。

季節の変わり目の風物詩を、ぜひご取材ください。

記

1. 取材日時

令和2年11月2日（月）午前8時15分（受け込み開始）

※受け込みは午後5時までですが、午前8時30分前後に持ち込む生産者が多いです。

2. 取材場所

J A高知県れいほく柚子加工場（高知県長岡郡大豊町黒石 200-2）

3. 取材内容

- ・搾汁用ゆずの受け込み作業
- ・ゆず玉の擦れの確認や規格外の分別作業
- ・生産者、森下工場長コメント

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、加工場内は一部立ち入り禁止となり、搾汁作業は撮影できません。ご了承ください。

4. 当日の対応者

J A高知県れいほく柚子加工場 工場長 もりした 森下 たけひろ 武洋（TEL：0887-73-0080）

5. その他

取材される場合は、事前に連絡をお願い致します。

J A高知県れいほく無農薬柚子部会メモ

- ① 生産地域：大豊町・土佐町・本山町・大川村
- ② 生産者数：401人（昨年度出荷人数）
- ③ 登録栽培面積：約76㍍
- ④ 今年の受け込み予定量：約850トン



受け込み作業



擦れや規格外の分別作業



<本件に関する問い合わせ>

取材に来られる際には、10月30日（金）午後5時までにご連絡ください。

J A高知県土長地区組合員課（担当：小野）TEL：088-863-2416